憲法改悪阻止・安倍政権の退陣に向けた闘い

THE SHAKAI SHIMPO
社会新報
発行所　社会民主党全国連合機関紙宣伝局　週刊(水曜日発行)
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17 マルキ榎本ビル5階　電話代表 03(3553)3787・振替 00140-1-3230
●定価１８５円●１カ月７２０円●送料１６８円

愛媛県連合版

発行所；社会民主党愛媛県連合
〒790-0066　松山市宮田町８－６
TEL：089-941-6065　fax：089-941-6079
発行責任者；逢坂節子　編集；中村嘉孝・源田竜也

「安倍改憲阻止」に向けた闘い
地域や職場での平和運動を強化する

10月5日、高知県早明浦ダム湖畔で辺野古新基地建設反対、高江ヘリパッドの即時撤退やオスプレイの国内配備反対などを求め、四国ブロック平和フォーラム主催の「米軍機墜落25周年・超低空飛行訓練中止を求める四国集会」が開催されました。

四国各地から３５０人が集会に参加した

愛媛からは、大原英記さんが議長を務め、社民党を代表して、社民党愛媛県連合の石川稔幹事長が挨拶を行い、愛媛の社会民主党地方議員団からは、菅もりみ県議、山岡健一市議も参加しました。

参加者全員で反基地の闘いを誓った

１９９４年10月14日、超低空飛行訓練中の米軍空母インディペンデンス艦搭載機Ａ－６Ｅイントルーダーが早明浦ダムに墜落し、乗員２人が死亡する事故がありました。また、昨年６月には嘉手納基地所属のＦ15戦闘機が沖縄近海に墜落、11月には米海軍ＦＡ18が北大東島の近海で墜落、今年４月にはＦ35戦闘機が青森沖に墜落するなど、事故が相次いでいます。

こうした事故に対し、日本には日米地位協定の関係から米軍機事故の調査権もなく、基地への立ち入り権もないため、十分な原因究明も行われないまま飛行が再開され、日本政府もそれを容認しています。

沖縄の辺野古新基地建設に対する沖縄県民投票では投票数の７割強の県民が反対の意思を表明しています。国政選挙、県知事選挙でも工事反対の民意を示し続けていますが、政府は土砂投入、工事の強行を続けています。

安倍政権の暴走を批判する石川稔幹事長

安倍政権は、トランプ米国大統領に追従し「日米同盟の抑止力・対処力を向上させ、日本の防衛およびアジア太平洋地域の安定に資する」と配備の必要性を強調するばかりで、国民の不安の声に応えようとしていません。

安倍政権を退陣に追い込むことを改めて確認した

集会アピールでは、全国での米軍機の低空飛行訓練の即時中止とオスプレイの国内配備反対、辺野古新基地建設反対、「戦争法」廃止、「安倍改憲阻止」の闘いに全力を挙げ、各地域や職場での運動を強化していくことを参加者全員で確認しました。

裏面に続く

「檻の中のライオン」憲法学習会を開催

分かりやすい憲法のお話

10月6日、「檻の中のライオン」in 大三島というタイトルで、今治市井口で菅もりみ県議が主催する「ひろしま市民法律事務所」の棙（はんどう）大樹弁護士による講演会が開催されました。

「ライオン」を権力者、「ライオンを入れる檻」を憲法、「檻を作る人」を国民に例えながら国民と人権との関係、基本的人権の尊重、三権分立などについて分かりやすくお話をしていただきました。

大三島のTENZO＆典座にて開催

人形も活用しながら講演する棙大樹さん

棙弁護士、「人権」について「人は憲法で保障される以前から生まれながらにして当然に国民に与えられているものであることが日本国憲法に記されている」と講演し、「国民主権のもと、国民がみんなで檻を作り、権力者であるライオンを檻に入れて権力を抑える」、「どのライオンを檻に入れるかも、国民が選挙で決める」ことについても、「人形」を使いながらわかり易く説明しました。

棙さんは子ども向けの憲法のお話でも活躍している

しかし、現憲法下で保障されている国民の権利が、安倍政権による改憲によって変質し、憲法96条の改憲を「檻が硬すぎるから柔らかくして欲しい」というライオンに例えながら説きました。

２０１３年に成立した特定秘密保護法により、ライオンが檻にカーテンをつけ、２０１５年には安保法制の成立により檻を破壊するなど、権力者による憲法違反が実際起きていることを指摘し、弁護士会からも「憲法違反である」との批判が多いと紹介しました。

国民が権力者を「檻」に

自民党改憲草案では、生まれながらにして与えられている人権（天武人権）が否定され、「国家」によって国民に人権が与えられるなど、権力者に都合のいい憲法改悪が行われようとしています。

衆議院では、改憲勢力が既に3分の2以上を占め、ブレーキが緩み、国会でしっかりとした議論がないまま、憲法改悪がされようとしています。

日本が憲法改悪の岐路に立たされている事態に対して棙弁護士は、権力者を法で縛り、国民の権利を守ることで、安心して言いたいことが言える「表現の自由」を紹介し、「みんなが、権力者であるライオンに関心を持ち、檻（憲法）の仕組みを学ぶことで、「檻を壊さないライオン」を選挙で選ぶなど、不断の努力が必要であり、今講演会に参加していない人にも、ぜひ広げていただきたい」と、政治に関心を持つことの大切さを参加者に訴えました。

棙さんによる講座は大三島で３９２回目になる

地元大三島で主催した菅もりみ県議